

福祉から

第67号

平成22年9月10日

編集・発行：富津市社会福祉協議会
富津市下飯野2443番地
会長 ^{ひら}平 ^の野 ^{ただし}正
電話 0439(87)9611
FAX 0439(87)9610

第8回社会福祉協議会 福祉バザーを開催します



日頃多くの場において活躍している福祉団体の財源確保のため、昨年同様福祉バザーを開催いたします。

このバザーの収益金は各福祉団体の収益とし、今後の活動に活用させていただきます。

皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

＜出店団体＞

各 地区社会福祉協議会
ボランティア登録団体
各 福祉施設 等

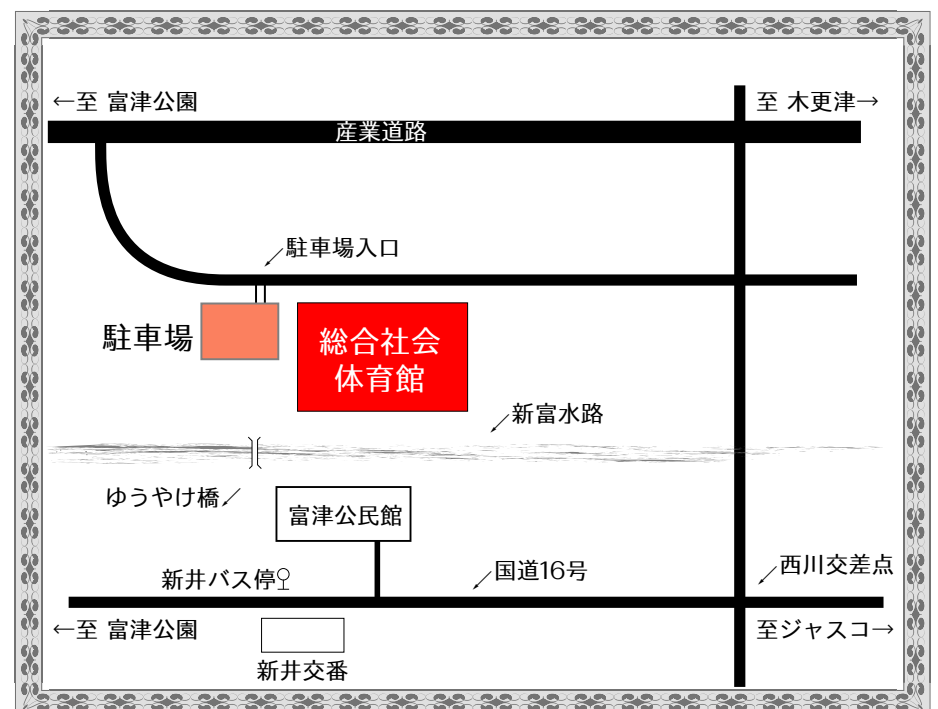
＜出店内容＞

日用品・衣類・手作り作品・食品
＊お子様が楽しめるキッズコーナーや介護用品の
展示販売・介護相談もあります。

日時：平成22年10月23日(土)
午前10時から午後1時まで

＊物品がなくなり次第終了いたします。
＊午前10時前入館・購入はできません。
あらかじめご了承ください

場所：富津市総合社会体育館
富津市新富80番地



＊駐車場は、体育館脇となります。
案内板にしたがって駐車してください。

皆様のお越しを、心よりお待ちしております

赤い羽根共同募金が始まります

今年もみなさまのあたたかい ご協力をお願い申し上げます。



共同募金運動とは？

共同募金は戦後まもない昭和22年にスタートして以来、みなさまのご協力によって社会福祉施設や社会福祉協議会、ボランティア活動などの多くの民間福祉活動を支援してきました。

今日我が国では、少子高齢化、治安の悪化、地方の過疎化など、不安を感じる状況が生じてきています。

このような状況のもと地域の多様な問題に対応していくためには、公的施策だけではなく地域の問題に対して、自ら取り組んでいこうとする市民による活動をさらに広げる必要があります。

共同募金は地域をより良くしようとする取り組みを、活動への参加や寄付を通じて、広く社会で応援し、一緒に進めていく民間の運動です。地域に暮らす人すべてに、住み良い地域づくりに向けて、共同募金はみなさまと協働の輪を広げていきたいと考えております。

また、「赤い羽根共同募金」は社会福祉法に定められた募金運動で、みなさまにご協力いただいたあたたかい善意は、みなさまのお住まいの地域で活用されます。子どもの遊び場・高齢者施設や児童養護施設などの福祉施設、団体活動など、地域福祉のために使われます。

富津市においても、区長会を通じてお願い致します戸別募金や、企業等へお願い致します法人募金、福祉教育の一環としてお願い致します学校募金、その他にも街頭募金を行うなど幅広く募金のご協力をお願いしてまいります。

趣旨をご理解いただき、みなさまのあたたかいご協力をお願い申し上げます。

今年も共同募金運動が始まります

今年も10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金」が始まります。また、12月からは「歳末たすけあい募金」も、あわせて行われます。

富津市においても、区長会を通じてお願い致します戸別募金や、企業等へお願い致します法人募金、福祉教育の一環としてお願い致します学校募金、その他にも街頭募金を行うなど幅広く募金のご協力をお願いしてまいります。



▲平成22年度「赤い羽根共同募金」の運動ポスターです。

赤い羽根共同募金の流れ

【募金に目安額が提示されています】

目標額を達成するために提示しています。1世帯500円が目安額となり、目標額と世帯数との関係から、千葉県共同募金会が算出しております。しかし、募金は自発的な協力を基本とするものであり、あくまでも目安にすぎません。任意で応分の募金にご協力ください。

【募金の流れ】

みなさまからご協力いただいた募金は、千葉県共同募金会に集まります。その後、千葉県共同募金会の配分計画に基づき翌年度に配分されます。

【配分先】

県内の福祉施設や市町村社会福祉協議会、福祉団体、NPO団体などへ配分されます。また、災害が発生したときに、被災した人たちを助ける活動支援を行います。



平成21年度共同募金のご報告

平成21年度に行いました「赤い羽根共同募金」にはあたたかい善意をありがとうございました。
富津市においては「赤い羽根募金」に6,638,568円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

【富津市社協での活動】

千葉県共同募金から富津市社協に配分された5,713,307円で活動しました。

事業名	説 明	支 出
老人介護家族の会	市内に居住し、自宅で介護をされている方を中心に結成。研修会等を開催	146,340円
寿の会連絡協議会	市内に居住するひとり暮らしの高齢者の閉じこもり防止や、生きがいづくり、仲間づくりをしながら活動を実施。	133,580円
音訳テープ 発行事業	市内視覚障害者へボランティアグループによる毎月一回「広報ふつつ」と「県民だより」の音訳テープの作成	109,450円
福祉教育	市内小中学校（17校）へ福祉教育推進のための配分。また、一人親中卒祝い品の配布を実施	615,000円
福祉大会	社会福祉活動に貢献した方へ感謝状の進呈、並びに記念講演を実施	806,218円
福祉バザー	福祉団体の財源確保を目的にバザーを実施	89,609円
ミニデイサービス	高齢者の閉じこもり防止、仲間づくりとしてレクリエーション等を実施（月6回）	1,027,657円
布えほん事業	幼児、児童、障がい児者等を対象に布えほんの作成・貸出を実施（月2回）	9,669円
福祉ふつつ	社会福祉協議会事業報告等を掲載（年4回発行）	642,487円
総合相談事業	弁護士による無料法律相談（月2回）・主任児童委員による子育て相談（月2回）	868,750円
福祉緊急電話設置事業	ひとり暮らし高齢者緊急時通報システム	654,547円
いきいきサロン助成事業	当事者等によるいきいきサロンへ助成	60,000円
地区社協助成	11地区社会福祉協議会へ助成	550,000円

【千葉県共同募金会での活動】

県下全域的視野で千葉県共同募金会がご協力いただいた募金で実施する活動

- 県内の高齢者施設、視覚障害者施設、身体障害者施設、知的障害者施設、精神障害者施設等といった関係施設の福祉車両等の購入費
- 県内の高齢者福祉、障害児者福祉、児童・青少年福祉、一人親家族福祉等といった関係福祉団体へのスポーツ大会や研修会等の事業費
- 住民参加型在宅福祉サービス団体やNPO団体への機器等の購入費や事業費
- 国内で大きな災害が発生した時に、被災された人々を助ける活動の支援



ご協力いただき
ありがとうございました。

民生・児童委員だより

富津市民生委員児童委員協議会広報 研修部会発行

【はじめに】

「福祉ふつつ 66号」で佐貫地区社会福祉協議会活動を紹介させていただきましたが、今回は民生委員児童委員活動を通じての竹岡地区社会福祉協議会活動を紹介させていただきます。

【竹岡地区社会福祉協議会

（以下、竹岡地区社協）の活動紹介】

竹岡地区社協は給食部会・研修部会・訪問部会・広報部会の4部会を設置し「海と緑と人情豊かな地域作りを目指して」をテーマに、役員をはじめ一人ひとりが地域福祉の推進者であることを自覚し、誇りと責任を持って自然と人情豊かで「住みよい竹岡」とするために活動しています。

また、竹岡地区には「竹岡を愛する会」という団体があり、地域の清掃や竹岡小学校運動会の協力、地域環境美化活動、地域安全パトロール等の活動を行っており、連携しながら竹岡地区の活性化に努めています。

【給食部会】

一人暮らし高齢者に対する給食サービスの年間計画を作成し、見守りを兼ねて年6回の給食サービスを実施しています。



また、訪問部会と協力し「敬老慰安の集い」を立案し、事業を運営しています。「敬老慰安の集い」は、竹岡地区在住の65歳以上の一人暮らしの皆さんの慰安ならびに竹岡地区在住の皆さんの親睦を兼ねて実施しています。平成21年度は「今年も元気で再会できたね」と

言う会話が聞えて来るような中で12回目の「敬老慰安の集い」を平成21年10月10日（土）に140人程の皆さまが参加して竹岡小学校体育館で開催されました。竹岡小学校児童の新富津音頭や婦人会の皆さん、地元の芸達者な皆さんが「おどり」等、数々を披露して下さいました。この

他にも、天羽中学校・天羽高校共演による演奏やヒット曲の披露もあり会場を沸かせてくれました。最後は恒例である「炭坑節」を参加者全員でおどり、交流を深めることができました。

【住民部会】

住民座談会、施設見学等、福祉向上に役立つ行事を計画し、運営しております。

平成21年度の住民座談会としては、昨年竹岡地区では歩行中の高齢者が乗用車にはねられ2



人の方が亡くなりました。竹岡地区社協ではこの死亡事故を重大事故としてとらえ、富津警察署の協力をいただき平成21年11月21日（土）竹岡コミュニティセンターにおいて、交通事故防止講習会を35名の参加の下開催いたしました。その折に警察署管内の概況や対策について、

講話をいただき、今後の竹岡地区で事故等がなくなるよう活用していきたいと考えております。

【訪問部会】

見守りネットワーク事業の一環として、担当地区内の一人暮らし高齢者、障がいを持つ人、その他援助を必要とする人達について、心情を害さないよう留意しながら、情報を収集し見守りを実施しています。また、給食部会と協力し、給食サービスの配食等で、一人暮らし高齢者の近況を把握したり、「敬老慰安の集い」等を計画・実施しています。

【広報部会】

竹岡地区社協の活動、市や他地区の福祉、ボランティア関係の情報を広報として地域住民に提供し、福祉に対する関心を高め啓蒙を図るために実施しています。また、地域住民の声の中から、反省点や問題点を見だし、活動の改善に努め、各種催し物を必要に応じ竹岡地区社協の活動状況を公開、発表しています。

富津市老人クラブ連合会の活動

老人クラブって何だろう？

老人クラブは、セカンドライフを住み慣れた地域で、親しい仲間と共に生きがいのある毎日をすごせるよう、楽しく語らい、健康づくりやお互いの助け合い活動、環境美化活動、スポーツ大会などおこなっている、地域に根ざした身近なクラブで、おおむね60歳以上の方々が構成される地域の自主的な高齢者活動グループです。

現在、富津市では22（富津地区5クラブ・大佐和地区8クラブ・天羽地区9クラブ）の単位老人クラブが活動しています。

平成21年3月末日現在で千葉県には、単位老人クラブは3,369クラブあり、会員数は158,841人います。全国になると、単位老人クラブは119,564クラブあり、会員数は7,388,307人います。

富津市老人クラブ連合会とは？

富津市老人クラブ連合会は、市内にある22の単位老人クラブの連合組織として昭和46年に設立され、左図のような老人クラブ活動の全体像で各部会（総務部・文化部・体育部・女性委員会）で年間行事を企画・運営し、自主的に活動しています。

主な活動は、健康増進や生きがいづくりのためのゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会、芸能大会等を開催しております。その他にも施設等に友愛訪問を行うなど地域に根ざした活動をしています。

老人クラブ活動の全体像

生活を豊かにする楽しい活動

○健康づくり、シニア・スポーツ
健康学習、歩け歩け大会、各種スポーツ大会 等

○趣味、文化
趣味、芸能大会、旅行 等

○学習活動・リーダー研修
各種学習講座や
リーダー研修への参加

地域を豊かにする社会活動

○友愛訪問、社会奉仕
福祉施設への友愛訪問、公園や
公共施設の環境美化・パトロール



芸能大会



輪投げ大会



愛の募金（一元玉募金）にご協力頂きありがとうございました

毎年7月1日から1ヵ月間実施しております「愛の募金（一元玉募金）」について、今年もたくさんのご協力を頂きありがとうございました。

ご協力頂きました募金は、これから集計を行い富津市内にある11地区の地区社会福祉協議会へ配分させて頂き、地域福祉活動のために活用させて頂きます。また、一元玉募金事業終了後には、皆さまに事業報告をさせて頂きます。

本当にたくさんのご協力を頂き、ありがとうございました。



▲表彰式に出席された「おやこ遊遊ひろば」の会員の皆さま

新日鉄君津社会貢献賞「第18回クローバー賞」受賞おめでとうございます

団体名『おやこ遊遊ひろば』

代表 平野和子氏 会員数 20 名

去る平成22年7月24日（土）「かずさアカデミアホール」において表彰式が行われました。同団体は、富津市社会福祉協議会子育て支援事業の一つである「おやこ遊遊ひろば」事業の協力ボランティアとして、平成14年に結成されました。毎月第2・第4金曜日に、公民館にて、就園前の乳幼児と親が気軽に集い交流できる場を提供し、子育てに関する情報交換やストレスを解消し、親子の仲間づくりを行う事業の主体となって活動され、地域の福祉活動に多大なる貢献をされております。



▲表彰式の様子

「クローバー賞」とは

新日本製鐵君津製鉄所において、平成4年3月、近隣4市の地域に居住する個人や団体が、利益を目的としない活動を継続的に続け、地域社会に貢献している方々を対象に、「クローバー賞」（新日鐵社会貢献賞）を新設することを発表し、翌年平成5年から昨年度までに、16回開催し、計49団体を表彰しております。

幸福を呼ぶと言われる4つの葉のクローバーは君津・木更津・富津・袖ヶ浦の4市を表し、地域社会に貢献する姿に光を当てたいという意味をこめて命名されております。